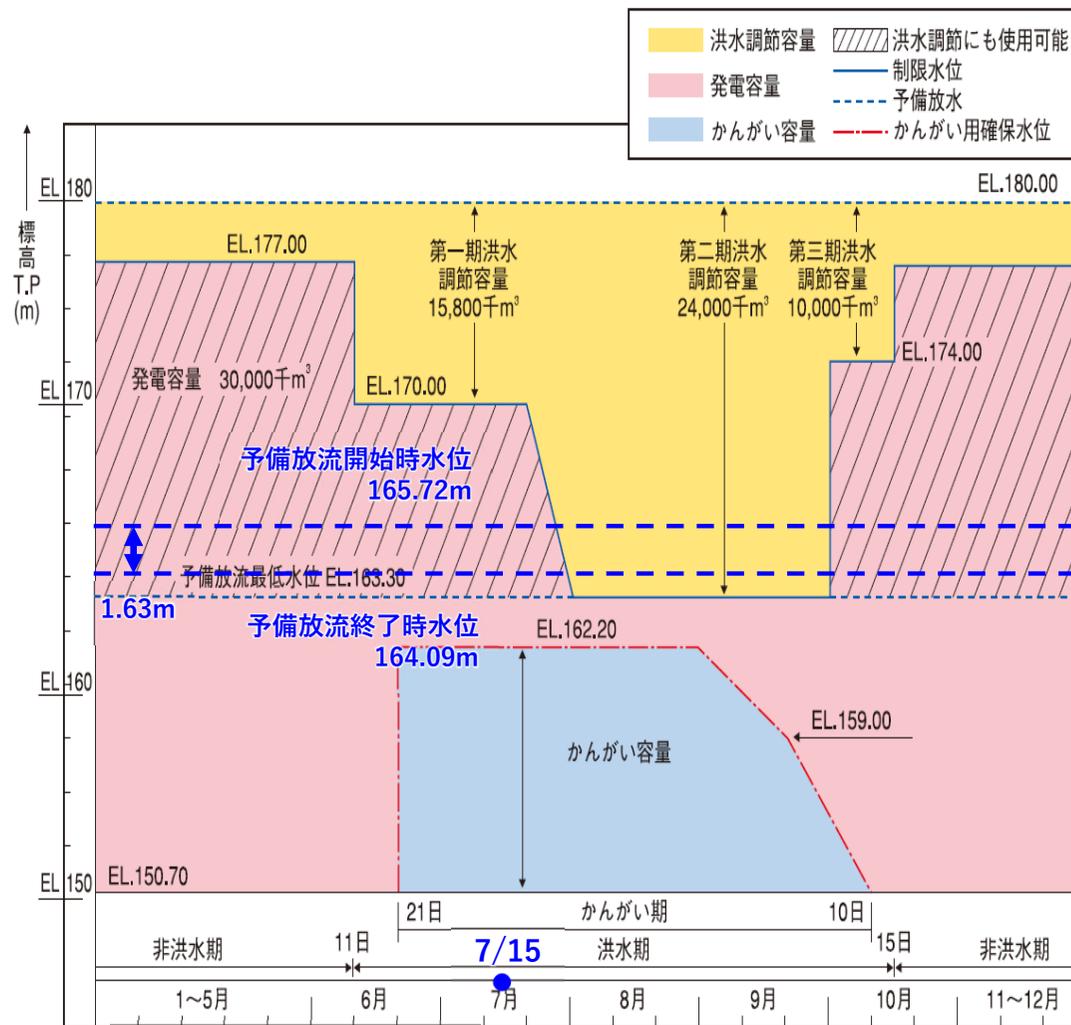
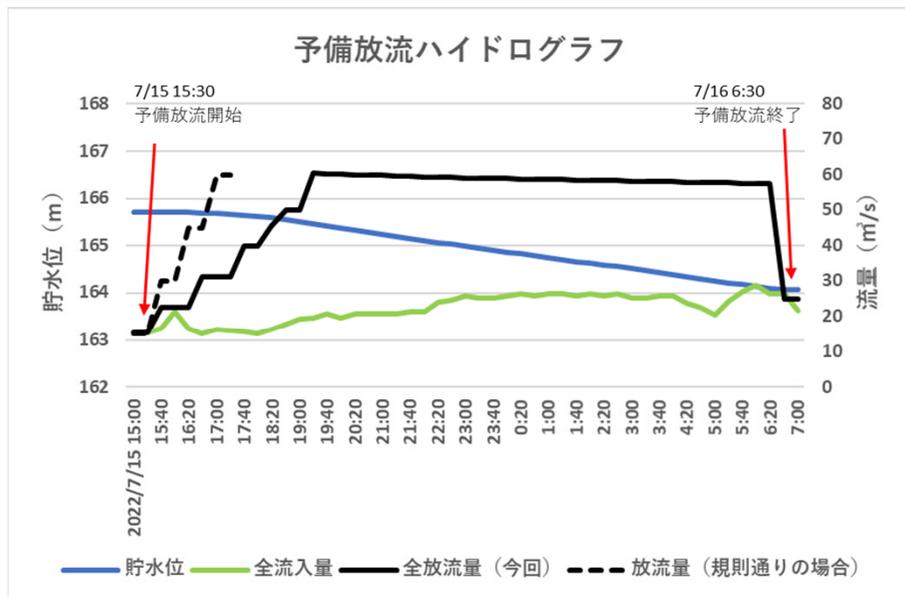


令和4年7月15日の出水に伴う予備放流対応

- ・7月15日10時30分に、気象庁より九州北部に全国で初めての線状降水帯予測情報が発表され、大雨による災害発生の可能性が生じた。
- ・これを受けて、緑川ダムでは15日15時30分から、予め貯水位を下げるための予備放流を実施。
- ・実施にあたっては下流河川に釣り客が多いことを踏まえ、操作規則に定める安全に配慮した放流量の増量制限を更に抑制した予備放流計画とし、河川利用者の安全に万全を期した。
- ・予備放流開始から7月16日6時30分の終了までに貯水位を1.63m低下させ、ダムの空き容量を約1,650千 m^3 確保した。
- ・幸いにも今回は大きな洪水とはならず済んだが、今後も緑川ダムでは適切な防災操作を実施していく。



期別貯水池容量配分図

